



# 白萩山願林寺

## 願林寺の歴史

願林寺の門は長屋門と言い、膳所藩からもらった門とされています。

## 願林寺の鐘

願林寺の鐘は村中の人に聞こえるように村の真ん中にむかって鐘を鳴らしています。

そんな大切な鐘も、戦争中に金属が足りなくて持っていかれてしまいました。鐘がなければ、みんなが困ってしまうので、村の人達が協力して作ってもらいました。

だから、この鐘はとても貴重な鐘なのです。



## 戦争中の願林寺

戦争中、大阪の難波小学校の子どもたちがそかいしてきました。その時は地域の人達が寄付してくれたりして助けてくれました。昭和49年には、難波小学校から感謝状をもらいました。

# 願林寺の歴史

## お寺の歴史

- ・願林寺は元々お寺のような役割をしていた小屋だった。
- ・しかし、地域の人々が正式な寺として認めてほしいと本家である東本願寺にお願いし掛け軸をもらえた。
- ・そして地域の人たちが資金を出し合い今の願林寺ができました。

## 昔のお寺

- ・今の寺のイメージはお葬式だが、昔は寺子屋という、今の学校のような役割をしていた場所だった。



たくさんの人に  
ゆずってもらったもので  
できている!!

平和を願い落ち武者が埋めた刀  
そのうえに建てられた

錆びたり  
折れたり



# 願林寺の歴史

昔の生活に使われていた  
しょうじの跡  
男女を分ける  
仕切りに使われていた

戦争時は疎開先と  
して使われていた

昔は寺子屋を  
していた

戦争で奪われたが地域と  
協力して鐘を買い直した

